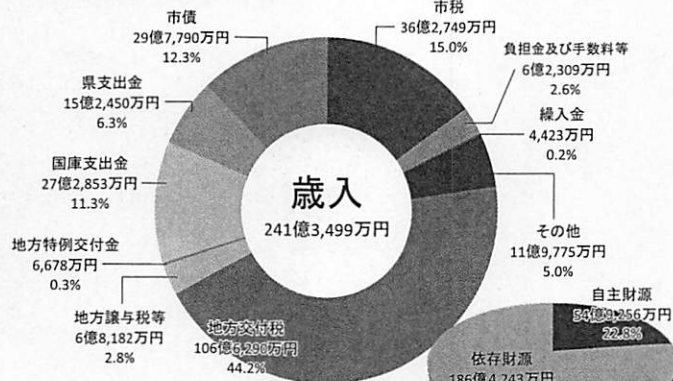


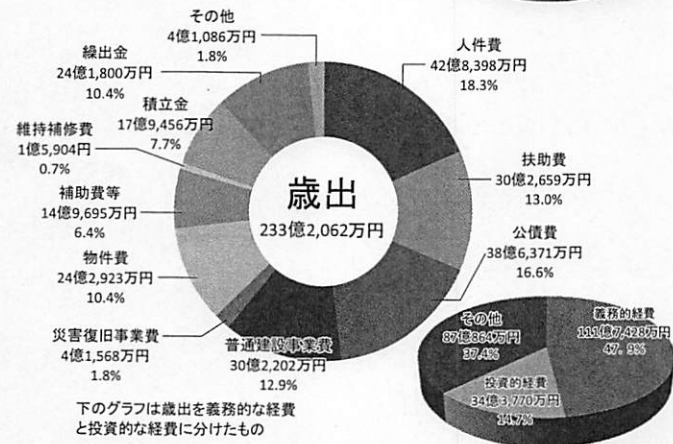
22年度の決算報告

【一般会計・特別会計】

一般会計決算状況



下のグラフは歳入を自主財源とそれ以外の依存財源に分けたもの



下のグラフは歳出を義務的な経費と投資的な経費に分けたもの



歳入は241億3,499万円

一般会計の歳入は、予算額 252 億 7,760 万円に対して、収入済額は、21 年度より 23 億 6,010 万円少ない、241 億 3,499 万円。

不納欠損額は 6,139 万円、収入未済額は 7 億 519 万円の決算となりました。

歳出は233億2,062万円

一般会計の歳出は、支出済額が 21 年より 26 億 6,259 万円少ない 233 億 2,062 万円。執行率は、92.3%となり、翌年度繰越額 13 億 4,914 万円を差し引いた不用額は 6 億 784 万円。

特別会計は黒字決算

11 ある特別会計の歳入総額は 121 億 1,883 万円、歳出総額 120 億 5,584 万円。

歳入・歳出差し引きの合計である形式収支額は、6,299 万円となり、翌年度繰り越す財源 45 万円 (下水道事業) を差し引く、実質収支額は 6,254 万円の黒字となりました。

特別会計決算状況

(単位：万円)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	46億2,163	45億1,148	1億1,015
国民健康保険診療所事業	9,524	9,524	0
老人保健医療事業	944	944	0
後期高齢者医療事業	9億3,552	9億3,551	1
介護保険事業	46億7,798	46億6,966	832
住宅新築資金等貸付事業	351	6,752	△6,401
生活排水処理事業	7,040	7,040	0
簡易給水施設事業	2億3,818	2億3,011	807
農業集落排水事業	7,214	7,214	0
大田市駅周辺土地区画整理事業	3億9,425	3億9,425	0
下水道事業	10億0,054	10億0,009	45

市債残は4億8,109万円減

一般会計における当年度末の市債残高は、330 億 657 万円で、前年度末より 3 億 4,448 万円減少しています。

特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より 4 億 8,109 万円減少し、400 億 9,259 万円となりました。

財政状況、左ページの財政健全化判断比率は、市のホームページ <http://www.city.ohda.lg.jp/32.html> で公開しています。詳細は、市役所財政課 (☎0854-82-1600/内線 217) まで

22年度の主な事業

- ▽ 緊急経済対策事業 8億7389万円
- ▽ 経済・子育て 2億502万円
- ▽ 三瓶地域指定管理料(北の原キャンプ場・リフト・ミラドール・レストハウスの合計) 2億502万円
- ▽ 地方バス路線確保対策事業 1億1248万円
- ▽ 障がい者自立支援給付事業 6億3161万円
- ▽ 新不燃物処分場整備事業 7976万円
- ▽ 容器包装リサイクル推進施設整備事業 3億7029万円
- ▽ 病院事業会計負担金 6億5492万円
- ▽ 保育園指定管理料(3園) 2億6816万円
- ▽ 児童手当及び子ども手当等(児童手当・児童扶養手当・子ども手当の合計) 6億9039万円
- ▽ 建設
 - ▽ 道路整備事業 3億4888万円
 - ▽ 災害復旧事業 4億737万円
 - ▽ 地域活力基盤創造交付金事業

病院事業 (大田市立病院)

22年度の決算報告

当年度純損失が約9億円

【企業会計】

22年度の患者数

- ▷入院患者数 延 52,078 人
(前年度比 17,887 人減)
- ▷外来患者数 延 99,450 人
(前年度比 24,676 人減)

収益的収支

収入は、28億9,359万円。医業収益が患者数の減少などにより、対前年度比20.6%減となり6億7,772万円の減額。

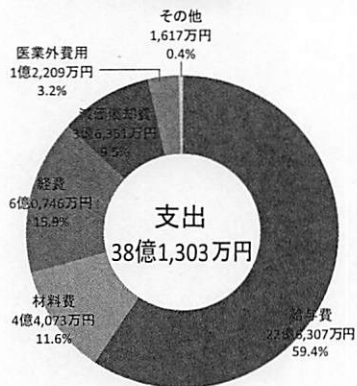
一方、支出は38億1,303万円。給与費・材料費の減額に努めた結果、医業費用が対前年度比10.5%減の4億3,518万円減額したところですが、差し引き、9億1,943万円の当年度純損失が生じました。

21年度繰越欠損金17億1,036万円を合わせ、22年度未処理欠損金は26億2,979万円となりました。

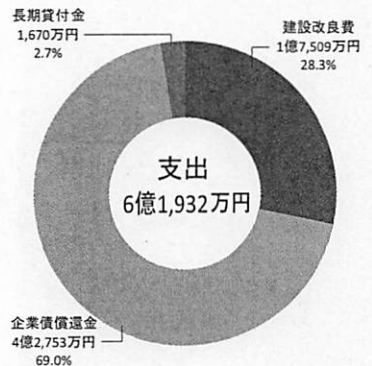
資本的収支

医療機器などの整備及び企業債の償還により、収支不足1億9,739万円が生じました。これを過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

収益的収支

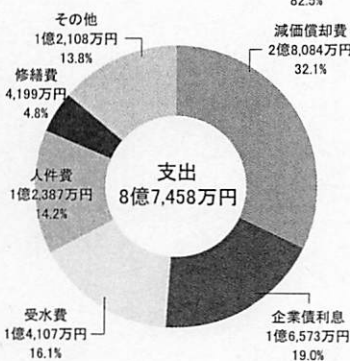
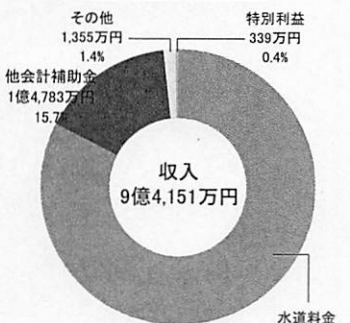


資本的収支

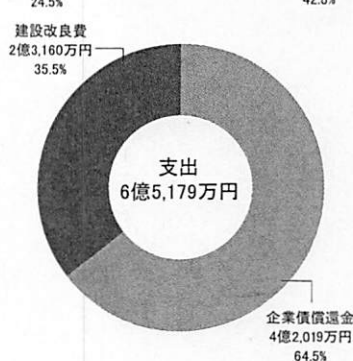


水道事業

収益的収支



資本的収支



収益的収支

22年度の収入は、9億4,151万円。10月検針分からの料金統一で、6.25%引き下げたことなどにより、給水収益が約2,298万円の減額となったことを主な要因として、合計で2,300万円の減額となり、対前年度比2.4%の減。

支出は8億7,458万円。受水費や企業債利息の減少などにより、6,675万円の減額となり、対前年度比7.1%の減となりました。

差し引き6,693万円の当年度純利益となり、前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は、2億2,771万円となりました。

資本的収支

建設改良事業では、石綿セメント管更新工事など23事業を実施。また、企業債の償還により、収支不足額4億1,103万円が生じました。

これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。